

にっぽん えほん しょく

日本絵本賞

どくしゃしょく

読者賞

山田養蜂場賞

◆主催：(社)全国学校図書館協議会、毎日新聞社 ◆特別協賛：山田養蜂場 ◆協賛：図書印刷、旭洋紙パルプ

市立駅家中学校。桜川市立羽黒
立候補絵本24冊が決定！

候補絵本24冊が決定！
2月29日まで一般投票受付中！

日本絵本賞読者賞【山田養蜂場賞】

候補絵本24冊が決定！

2月29日まで一般投票受付中！

日本絵本賞読者賞【山田養蜂場賞】

NEWS 第16回受賞作一覧

MAINICHI

毎日新聞

SLA School Library Association

(社)全国学校図書館協議会

第16回 日本絵本賞大賞
『ものすごくおおきなプリンのうえ』(教育画劇)
二宮由紀子／ふん 中新井純子／え
『5ひきのすてきなねずみ ひこじだいさくせん』(まるぶ出版)

第16回 日本絵本賞翻訳絵本賞
『ひみつだから！』(岩崎書店)
『のつべらぼう』(ボブラン社)
杉山亮／作 軽部武宏／絵



【山田養蜂場賞】への投票も、第16回で3万3036票となる。今回からは日本絵本賞の公式ホームページからインターネットでのWeb投票も可能となった。奮っての投票を呼びかけた

絵本とのふれあい
「こわいよ、ねむれなくなる」と言いながら、こわいもの見たさで興味を持つて見入っていく。最初に絵本を見せたときに、タイトルと表紙に「こわい」と言つて尻込みしていた幼児たちが、どんどんストーリーに引き込まれていった。物語も最後にさしかかると「おかあさんものっぺらぼうだよ」とハラハラ感いっぱいのあの安堵では、「ホーッ」と胸をなでおろした。本の世界に引き込まれるとは、まさにこのことを言うのだ。

その他、前回の実践校に選ばれた学校の取り組みを紹介する。東久留米市の自由学園初等部では、昼食時間に、スクリーンに絵を映し出し、教師による読み聞かせを行った。絵本を通して他学年との交流が図られたり、児童同士、また児童と教師、児童と保護者が一緒に楽しみ、絵本を通してつながりが深まるものとなつた。「実践校に選ばれたことが、今後の絵本選びや読み聞かせにも役立つ貴重な機会となつた」と指導教諭も語る。

柳川市立昭代第一小学校では、図書館で候補絵本を配架し、全校児童に投票を呼びかけ同校独自の「昭一絵本賞」を選出した。読んだ絵本をプレゼントするならどんなときにはどんな人にしたいかを全員がスピーチし、聞こうという取り組みをした福山市立駅家中学校。桜川市立羽黒

日本絵本賞とは

「絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与すること」を目的に1995年に創設。読者が積極的に投票に参加することによって、絵本への関心を高め、絵本読書の輪が広がっていくことをを目指して設けられたのが、読者投票で選ばれる日本絵本賞読者賞【山田養蜂場賞】だ。

未来の子どもたちのために
特別協賛・山田養蜂場の想い
夢を持てるような未来を、子どもたちに引き継いであげるのは、私たち大人の責任です。子ども時代にこそ、童話や絵本を通じて、人として大切な心を育むことが大切なのだと思いま

す。子どもたちが、辛いときや悲しいとき、苦しいときにも、現実に向かって進める力を養って欲しいと願っています。

この日本絵本賞を良い本との出会いの場にしてください。

Web投票もできるよ！

いちばん好きな絵本はど～れ？
下の絵本24冊の中から選んでね！

ホンヨモ!
子ども読書推進運動進行中!